

東北圏広域地方計画 計画原案(素案)に対する意見と対応方針(※H28.1.14有識者懇談会以降)

No.	機関名	ページ 番号	行 番号	節・PJ 番号	修正文(案)・個別公共事業の記載(案) 意見又は理由 等	意見に対する 対応方針(案)
全体、構成						
1	新潟県	-	-	-	「ラグビーワールドカップ」の表記に統一性がないので、統一したほうがよいのではないか。	全国計画と整合を図り、「ラグビーワールドカップ2019」に統一
2	秋田県	-	-	-	障がい者→障害者 【理由】 P75 21行、P115 27行などと統一	全国計画と整合を図り、「障害者」に統一
3	東北地方整備局	-	-	-	第2章 第4節 8. 公共投資の重点化と効率化 9. 若者の定着、人材育成 を入れ替え	指摘に従い修正 第2章 第4節 8. 若者の定着、人材育成 9. 公共投資の重点化と効率化
4	東北地方整備局	-	-	-	第5章 「15.首都圏・北海道・北陸圏等との連携強化プロジェクト」の体裁を他プロジェクトと統一(①、②、③の番号削除)	指摘に従い修正 各項目は接続詞でつなぐ
はじめに						
5	東北地方整備局	はじめに P.1	9	-	計画改定にあたっては、平成27年8月14日に閣議決定された新たな国土形成計画(全国計画)や国土のグランドデザイン2050等と整合を図りつつ、長期的視点から「新たな東北圏」の姿を描いたうえで、今後10年間に推進すべき地域戦略を明示する。	指摘に従い修正
6	東北地方整備局	はじめに P.1	13	-	計画期間における最優先課題は、東日本大震災からの迅速な着実な復興である。今後行政、住民が一丸となって取り組みを加速し、一日も早い復興を成し遂げる。	指摘に従い修正
7	東北地方整備局	はじめに P.2	1	-	また、圏域内の対流のみならず圏域間の対流を促進し、首都圏等の他圏域から積極的にヒト・モノ・情報等を「呼び込む」ことは、人口問題に直面している東北圏において非常に重要である。 ↓ また、 圏域内の対流のみならず圏域間の対流を促進し、 首都圏等の他圏域から積極的にヒト・モノ・情報等を「呼び込む」ことは、 圏域内の対流のみならず圏域間の対流を促進し、 人口問題に直面している東北圏において非常に重要である。	指摘に従い修正
8	東北地方整備局	はじめに P.2	4	-	平成27年春に常磐自動車道が開通し、関越自動車道、東北縦貫自動車道に次いで三本目の動脈が首都圏と直結した。加えて、現在震災復興プロジェクトとして整備が進む三陸沿岸道路や、日本海沿岸地域で整備中の日本海沿岸東北自動車道、秋田・山形・福島の内陸部の主要都市を結ぶ東北中央自動車道などの縦軸、それらを結ぶ横軸の整備により、10年後には東北圏全域に速達性、信頼性の高い交通ネットワークの効果が波及し生産性が飛躍的に向上する。 【理由】 東北中央道を追加した。	指摘に従い修正
9	東北地方整備局	はじめに P.2	29	-	(最終段落として追加) 東北圏の将来像としては「震災復興から自立的発展へ」し、震災復興を契機に国内外に誇れる防災先進圏域の実現を図るとともに、日本海、太平洋2面活用による産業集積、インバウンド増加により人口減少下においても自立的に発展する圏域を目指す。	指摘に従い修正
第1章						
10	東北地方整備局	2	23	2	東北圏は、豪雪地帯であり、多くの自然、豊穡な大地、水資源に恵まれ、	指摘に従い修正
第2章						
11	北海道	5	3	1	(原案)北海道新幹線の新青森～新函館北斗間が開業予定となっている。 (修正案) ～開業する。(した) 開業日決定のため、「予定」を削除。 ※ 3月26日前に本計画が公表される場合には「開業する」、 3月26日以降となる場合は「開業した」としていただきますようお願いいたします。	指摘に従い修正 ※公表日にあわせて調整※
12	東北地方整備局	5	4	1	高速道路についても、磐越自動車道、山形自動車道や秋田自動車道等の横断道や北陸自動車道、常磐自動車道の整備が進んだほか、日本海沿岸や三陸沿岸部で整備が進められている。 ↓ 高速道路についても、磐越自動車道、山形自動車道や秋田自動車道等の横断道や北陸自動車道、常磐自動車道等の整備が進んだほか、日本海沿岸や秋田・福島・山形の内陸部、三陸沿岸部等で整備が進められている。 【理由】 東北中央道の整備も進められていることを追加。	指摘に従い修正
13	東北地方整備局	5	21	1	・・・昭和58年の日本海中部地震、平成20年の岩手・宮城内陸地震等、地震による災害は数多く、	指摘に従い修正

東北圏広域地方計画 計画原案(素案)に対する意見と対応方針(※H28.1.14有識者懇談会以降)

No.	機関名	ページ 番号	行 番号	節・PJ 番号	修正文(案)・個別公共事業の記載(案) 意見又は理由 等	意見に対する 対応方針(案)
14	東北地方整備局	7	17	2	平成25年98月の豪雨による北上川水系の洪水、平成27年7月豪雨による鳴瀬川水系の洪水等、集中豪雨や台風による洪水被害や土砂災害…	指摘に従い修正
15	東北地方整備局	8	4	3	平成27年には、蔵王山等で火山性地震が発生している。 ↓ 平成26年には、吾妻山や蔵王山で火山性微動や御釜の白濁など火山活動の高まりが確認されている。 【理由】 事象発生年次と内容が正確ではないため、文言を修正	指摘に従い修正
16	新潟県	9	19	2	越後十日町雪まつり → 十日町雪まつり	指摘に従い修正
17	東北地方整備局	9	22	2	さらに、白神山地に続いて、平成23年6月に岩手県平泉が、平成27年7月に明治日本の産業革命遺産として橋野鉄鉱山が白神山地に続いて東北圏で2例目となる世界遺産に登録されるなど、歴史的な文化遺産も数多く残されている。	指摘に従い修正
18	東北地方整備局	10	26	3	…ピークに減少に転じており、2010年から2050年の将来予測においても、圏域別の人口減少率は36%と全国で最も高く、圏域内では各県すべてにおいて人口減少が加速していくものと見込まれている。	指摘に従い修正
19	宮城県	11	20	3	「東北圏各県の一人あたり県民所得額は、いずれも全国平均を下回っている」を「東北圏の一人あたり県民所得額は、多くの県で全国平均を下回っている」に修正 【理由】 平成25年度県民経済計算において宮城県の一人あたり県民所得額が国民所得を上回ったため。(1月18日公表)	現時点では修正しない 現時点では各県ベースの公表であり、全県横並びでのデータ収集が難しいため 内閣府HPでの公表状況をみて、必要に応じて今後修正
20	東北地方整備局	12	2	4	4. グローバリゼーションの進展や東アジアの経済成長 ・全文を以下に修正。 ↓ グローバル化の進展や、東アジアの急速な経済成長が、我が国の経済に大きな影響を及ぼしている。地域の経済発展のためには、成長著しい東アジアの活力の取り込みが必要であるが、国内における東北ブロックの東アジアとの貿易シェアは、輸出入額で約2%と低い。また、訪日外国人の東北ブロックへの訪問率も日本全体の約1%と極めて低く、国際的な交流や連携が十分とはいえない状況にある。このような中、EPAやTPPなど、自由貿易経済圏の拡大に伴い、東北の産業、立地企業も厳しい国際競争の波にさらされている。 東北ブロックは、日本海と太平洋の両方に面しており、この地理的特性を活かし、東アジアや、北極海経由での欧米諸国との連携強化・国際分業や新たなマーケットとなる海外との直接的な交流、物流効率化の取り組み等による国際競争力の強化を推進していく必要がある。 【理由】 現状の取り巻く現状を正確に表現に見直し、文言を修正 ※社会資本整備重点計画の表現に合わせる。	指摘に従い、社重点をベースに表現を精査し、以下のとおり修正 なお、「東北ブロック」は「東北圏」、「東北」は「東北圏」に修正 【修正案】 グローバル化の進展や、東アジアの急速な経済成長が、我が国の経済に大きな影響を及ぼしている。地域の経済発展のためには、成長著しい東アジアを始めとする諸外国の活力の取り込みが必要であるが、国内における東北圏の輸出入額の全国シェアは約2%と低い。また、訪日外国人の東北圏への訪問率も極めて低く、国際的な交流や連携が十分とはいえない状況にある。このような中、EPAやTPPなど、自由貿易経済圏の拡大に伴い、東北圏の産業、立地企業も厳しい国際競争の波にさらされている。 東北圏は、日本海と太平洋の両方に面しており、この地理的特性を活かし、東アジアや、北極海経由での欧米諸国との連携強化・国際分業や新たなマーケットとなる海外との直接的な交流、物流効率化の取り組み等による国際競争力の強化を推進していく必要がある。
21	東北農政局	22	26	4	～食料自給率で全国平均の39%を大きく超える105%、都道府県毎～ ↓ ～食料自給率で全国平均の39%を大きく超える104%となっており、都道府県毎～ 【理由】 前回依頼して修正済み(101→104)であったが、数字が変わっている。	修正しない H25概算値を用いて、東北圏7件の平均値を105%(≒104.9%)で算出しているため

東北圏広域地方計画 計画原案(素案)に対する意見と対応方針(※H28.1.14有識者懇談会以降)

No.	機関名	ページ 番号	行 番号	節・PJ 番号	修正文(案)・個別公共事業の記載(案) 意見又は理由 等	意見に対する 対応方針(案)
22	東北農政局	23	2	4	しかしながら、農業および漁業の就業者は、減少・高齢化の一途をたどっており、深刻な担い手不足のほか、生産物価格の下落や生産資材価格の上昇等の経営環境の悪化が、農林水産業の大きな課題となっている。 こうした中、東日本大震災により、沿岸部の農地、農業施設や生産施設等に大きな被害を受けた。このため、地域の農林水産業の再生が求められている。また、農業者の更なる減少による将来の担い手不足が課題となっている。 ↓ また、その果たす役割は、食料生産のみならず、国土や自然環境の保全、故郷の景観維持、文化の継承等の多面的な機能を有している。 しかしながら、農業の担い手不足や高齢化、農業所得の減少等の厳しい状況に直面しており、こうした問題に対応するためには、まずは「攻めの農林水産業への転換」に向け、経営感覚に優れた担い手の育成、6次産業化の推進、輸出促進など、体質強化対策を集中的に講じる必要がある。 特に、望ましい農業構造の確立と農業の産業としての自立を図る観点から、各県に設立された農地中間管理機構を活用して農地の集積・集約化を促進していくとともに、青年層の新規就農の促進、農業経営の法人化の推進など農業の担い手の育成・確保に向けた取組を更に進め、農業の構造改革を一層加速化していく必要がある。 【理由】 本文には、農業・水産業等が混在した記載となっていることから、記載内容の整理を行った。併せて農村の多面的役割について記載。	指摘に従い修正
23	東北地方整備局	24	13	4	また両海をつなぐ津軽海峡も有している他、北海道とも比較的近い位置にある。	指摘に従い修正
24	東北森林管理局	27	注釈	4	・保護林についての注釈の修正 原生的な森林生態系からなる自然環境の維持、動植物野生生物の保護、遺伝資源の保存、森林施業及び管理技術の発展等に資することを目的とした国有林野。 【理由】 内容及び用語の正確性を期すため。	指摘に従い修正
25	東北森林管理局	27	注釈	4	・緑の回廊についての注釈の修正 森林生態系の構成者である野生動植物の種の保全や遺伝的な多様性の保全の確保するため、保護林を相互に連結し、野生動植物生物の生育・生息地を結ぶ移動経路を確保するもの。 【理由】 内容及び用語の正確性を期すため。	指摘に従い修正
26	新潟県	28	14	4	佐渡金山 → 佐渡金銀山	指摘に従い修正
27	新潟県	28	15	4	「ジオパーク登録の動きも高まっている」とあるが、新潟県系魚川市はH21.8に世界ジオパーク登録済みなので、それを踏まえた文章にしたい。	修正しない 東北圏全体の動きを指しての記載のため 世界ジオパークである系魚川については、第2章(P.6-10行目)に記載あり
28	東北地方整備局	28	20	4	東北圏は、国立公園を始めとする自然公園や世界自然遺産白神山地等、美しい風景や多くの恵みを生む広い圏土を有しており、	指摘に従い修正
29	東北農政局	28	28	4	特に、荒廃農地は増加傾向にあり、東北圏で全国の約15%を占めている。さらに急激な人口減少や高齢化により、荒廃農地やそれに伴う無居住地域の増大に拍車がかかることが懸念される。 ↓ 荒廃農地は増加傾向にあり、東北圏で全国の約15%を占めている。さらに急激な人口減少や高齢化により、荒廃農地の増大や集落機能の持続が難しくなるなどの課題が発生している。 【理由】 荒廃農地の増大が原因となって無居住地域が増大しているわけではないことから。	指摘に従い修正
30	東北地方整備局	29	30	4	今後、東北圏が持続的に発展するためには、中長期的に人口減少を安定させるとともに、人口減少や高齢化社会を見据えた手だてを考え、	指摘に従い修正
31	青森県	30	21	4	衛星授業 → 遠隔教育 【理由】 P78及びP111と同じ表現にするため修正	指摘に従い修正

東北圏広域地方計画 計画原案(素案)に対する意見と対応方針(※H28.1.14有識者懇談会以降)

No.	機関名	ページ 番号	行 番号	節・PJ 番号	修正文(案)・個別公共事業の記載(案) 意見又は理由 等	意見に対する 対応方針(案)
32	宮城県	31	10	4	「二地域居住」と「二地域生活・就労」について、語句の説明(脚注)が必要と思われる。	ここでは「複数の生活拠点をもち、新たなライフスタイル」の例を記載したいため、文章をわかりやすく簡略化する 複数の生活拠点をもち、いわば人生を2倍楽しむ「二地域居住」、「二地域生活・就労」という新たなライフスタイルも生じつつある。 ↓ 【修文】 複数の生活拠点をもち「二地域居住」など、新たなライフスタイルも生じつつある。
33	東北農政局	31	脚注	4	農畜産物の生産(1次)だけでなく、食品加工(2次)、流通・販売等(3次)にも農業者が主体的かつ総合的に関わることで、第2次・第3次産業事業者が得ていた付加価値を農業者が得ようとする取組(第1次×第2次×第3次=第6次産業)。 ↓ 1次産業としての農林漁業と、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業等の事業との総合的かつ一体的な推進を図り、地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組(1次×2次×3次=6次産業化) 【理由】 六次産業化・地産地消法の前文に基づく定義に修正。	指摘に従い修正
第3章						
34	東北地方整備局	37	5	1	加えて10年後には、東北圏全域に高規格道路ネットワークの効果が波及することから、 ↓ 加えて10年後には、東北圏全域に高規格幹線道路等のネットワーク効果が波及することから、 【理由】 地高も含む表現としたいため「等」を追記した。	指摘に従い修正
35	東北地方整備局	37	24	1	これにより、豊かな自然の中で園民が自立発展するふるさと「東北につぼん」という新たな	指摘に従い修正
36	東北地方整備局	37	29	1	(東北圏の将来像) 「震災復興から自立的発展へ」 (P)防災先進圏域の実現と豊かな自然の中で活かし交流・産業拠点として発展するふるさとを目指す「東北につぼん」	指摘に従い修正
37	東北地方整備局	39	19	2	東日本大震災からの復興を機に整備が進んでいる格子状骨格道路ネットワークや 【理由】 表記を統一した。	指摘に従い修正
第4章						
38	山形県	44	24	1	農作物→農産物 【理由】 同ページ内での文言整理、統一18行目との整合を図る。	指摘に従い修正
39	山形県	44	27	1	農作物→食品・農産物 【理由】 同ページ内での文言整理、統一HACCPの取組みを例とするなら、「農作物」ではなく「食品」が適当。28行目との整合を図る。	指摘に従い修正
40	山形県	44	28	1	農産物・食品→食品・農産物 【理由】 同ページ内での文言整理、統一	指摘に従い修正
41	東北地方整備局	48	20	1	福島県の復興のために必要となる道路、港湾、海岸、鉄道等の公共施設を重点的に整備する。	指摘に従い修正
42	東北地方整備局	53	34	2	広域防災拠点の整備調査・検討を進める。	指摘に従い修正
43	東北農政局	57	28	2	～災害が発生することを前提とした対応(タイムラインに沿った対応)の強化、住民に対し適切な～ ↓ ～災害が発生することを前提とした対応(タイムラインに沿った対応)の強化、農業用ため池の点検とそれを踏まえた対策の実施、住民に対し適切な～ 【理由】 近年、地震などでため池の決壊が発生しており、点検と対策を実施していることから。	指摘に従い修正

東北圏広域地方計画 計画原案(素案)に対する意見と対応方針(※H28.1.14有識者懇談会以降)

No.	機関名	ページ 番号	行 番号	節・PJ 番号	修正文(案)・個別公共事業の記載(案) 意見又は理由 等	意見に対する 対応方針(案)
44	青森県	58	34	2	原子力発電について → 削除 (理由)文面の整理	指摘に従い修正
45	青森県	59	2	2	放射線による有害な影響 → 放射線、被ばくの影響 (理由)文面の明確化	指摘を踏まえ、以下の通り修正 放射線などの影響
46	東北地方整備局	59	7	2	(1)多様な主体の連携によるグローバルな災害対応の推進	指摘に従い修正
47	東北森林管理局	59	29	3	…自然環境の保全や防災、水源の かん 養、 →…自然環境の保全や防災、水源の 涵 養 【理由】 誤字の修正。	指摘に従い修正
48	東北森林管理局	62	10	3	…森林を再生するなど、 国民国民 参加の森林づくりを推進… 【理由】 東北圏広域地方計画であっても、東北圏外の参加による森林づくりも考えられるため、「国民参加」に修正した。 (参考)国民参加の森林づくり活動パンフレット	指摘に従い修正
49	東北森林管理局	65	30	3	…野生 動植物 の 生息・生育地 の確保のほか、 →野生 生物 の 生育・生息地 の確保のほか、 【理由】 表現の適正化。	指摘に従い修正
50	環境省	66	12	3	都道府県が実施するニホンジカおよびイノシシの捕獲 事業 を強化、 支援 するとともに、将来の鳥獣捕獲の担い手の育成および確保を図る。 (理由) 捕獲目標達成に向けては、捕獲事業のみならずそれに関連した様々な取組を含めての捕獲の強化が必要であるため。	指摘に従い修正
51	東北地方整備局	66	15	3	エコロード や環境との調和に配慮した農業用排水路のほか、 ↓ 自然環境を保全し環境との調和に配慮された道路や農業用排水路のほか、 【理由】 「エコロード」の単語は最近使われていないため修文。	指摘に従い修正
52	東北地方整備局	67	15	3	生物の 生息、生育、繁殖空間 の確保や河川、河川等と一体となった まちづくり、水辺公園の整備 、 ↓ 生物の生息、生育、繁殖環境の保全、再生、創出や河川、河川等と一体となったまちづくり、水辺の整備 【理由】 単に確保するのではなく、具体的に「保全、再生、創出」を図る。また、「水辺公園の整備」となっているが、必ずしも公園ということではなく、より広く実施しており「公園」を削除し、「水辺の整備」とする。	指摘に従い修正
53	東北地方整備局	71	17	4	地域の実情に応じた広域的な生活圏域を 自らの行政区域にこだわらず 形成する。	指摘に従い修正
54	東北地方整備局	71	20	4	また、既存の高速道路を有効に活用しながら都市相互の連携を向上させるため、料金割引やETC(有料道路における自動料金収受システム)専用のスマートインターチェンジの整備、救急医療体制を支援する救急車退出路の整備等を推進する。 ↓ また、既存の高速道路を有効に活用した スマートインターチェンジの整備や、救急医療体制を支援する救急車退出路の整備 等を推進する。 【理由】 ネットワークの構築に直接影響しない「料金割引」を削除。	指摘に従い修正
55	東北農政局	74	16	4	～近年は人口減少などによる土地の利用密度の低下 や 市街地に接する農地などにおける都市的な土地利用も見受けられる。今後、東北圏においては、都市と農山漁村の土地利用の整合を図りつつ、地域住民と行政との協働によるきめ細やかな土地利用を進め、 市街地の拡大を抑制した 計画的な都市の形成を図る。 ↓ ～近年は人口減少などによる土地の利用密度の低下 が見られる一方で、 市街地に接する農地などにおける都市的な土地利用～(中略)～きめ細やかな土地利用を進め、計画的な都市の形成を図る。 【理由】 土地利用の低下と都市的な土地利用は逆の話なので接続詞を「一方で」とした。一方的に「市街地の拡大」を抑制するのではなく、適切な土地利用を推進する必要があることから。	指摘に従い修正

東北圏広域地方計画 計画原案(素案)に対する意見と対応方針(※H28.1.14有識者懇談会以降)

No.	機関名	ページ 番号	行 番号	節・PJ 番号	修正文(案)・個別公共事業の記載(案) 意見又は理由 等	意見に対する 対応方針(案)
56	秋田県	84	4	4	子育て世代包括支援センターの掲載 【理由】 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」で「妊娠・出産：子育ての切れ目のない支援」として、妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して総合的相談支援を提供するワンストップの拠点(子育て世代包括支援センター)の整備進め、専門職等が必要なサービスをコーディネートし、切れ目のない支援を実施するとあるので、記載してはどうか。	指摘を踏まえ、以下の文を追記 妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対応して総合的相談支援を提供するワンストップ拠点の整備を進め、専門職等が必要なサービスをコーディネートして妊産婦等に対し切れ目のない支援の実施を図る。
57	東北地方整備局	86	10	4	さらに、将来に亘って地域経済を成長させていくには、航空機関連産業など長年のものづくり技術を活かした産業の多様化も重要である。	指摘に従い修正
58	秋田県	86	15	5	新たな産業のイノベーションの創出→イノベーションによる新たな産業の創出 【理由】 語句の言い回しの訂正	文意を踏まえ、以下の通り修正 【修正案】 新たな産業におけるイノベーションの創出
59	山形県	88	29	5	合成クモ系繊維開発に成功→合成クモ系繊維の量産化技術の開発に成功 【理由】 合成クモ系繊維の開発は世界中の研究機関が取り組んでいるが、スパイバー社が成功したのは、量産化技術の開発である。	指摘に従い修正
60	山形県	88	30	5	その成果→産学官連携の成果 【理由】 文中の「その」が「東北インテリジェント・コスモス構想」を指すのか、「産学官連携」を指すのかわかりづらいため。	指摘に従い修正
61	東北農政局	92	24	5	～経営の多角化や複合化を推進する。 また、将来に向けて世代間バランスのとれた農業就業構造を実現するためには、～ ↓ ～経営の多角化や複合化を推進する。 また、各地域の人と農地の問題を解決していくため、人・農地プランの作成と定期的な見直しを推進するとともに、農地の公的な中間的受皿として各県に整備された農地中間管理機構をフルに稼働させ、地域内に分散・錯綜する農地を借り受け、担い手がまとまりのある形で農地を利用できるよう配慮して貸し付けることで、担い手への農地の集積・集約化を推進する。 さらに、将来に向けて世代間バランスのとれた～発展を図る。また、女性農業者は、～ 【理由】 地域の将来展望を描く「人・農地プラン」と農地の活用を促す「農地中間管理機構の活用」は、地域の担い手の育成に大きく寄与することから記載。併せて接続詞の見直しを行った。	指摘に従い修正
62	東北農政局	93	9	5	～した質の高い試験研究を促進するとともに～ ↓ ～した質の高い実証研究を促進するとともに～ 【理由】 現在、試験研究ではなく実証の段階に入ったことから字句の修正。	指摘に従い修正
63	東北農政局	93	10	5	食の安全・安心に対する消費者の関心も高いことから、品種・産地の偽装を防止し消費者の信頼を確保するための品種・産地判別技術等の技術開発を推進する。 ↓ 食品の品質や表示に係る消費者の関心が高まっていることから、品種・産地の偽装を防止し消費者の信頼を確保するための品種・産地判別技術等の技術開発を推進する。 【理由】 「食料・農業・農村基本計画」(H27年3月)の記載に準拠	指摘に従い修正
64	東北農政局	93	21	5	～世界に認められた「東北ブランド」として、国内及び海外に向けた販路拡大等の取組を推進する。～ ↓ ～世界に認められた「東北ブランド」として、海外に向けた販路拡大等の取組を推進する。～ 【理由】 国内向けに「東北ブランド」としての販路拡大を行っていないのではないかと。	指摘に従い修正

東北圏広域地方計画 計画原案(素案)に対する意見と対応方針(※H28.1.14有識者懇談会以降)

No.	機関名	ページ 番号	行 番号	節・PJ 番号	修正文(案)・個別公共事業の記載(案) 意見又は理由 等	意見に対する 対応方針(案)
65	東北農政局	94	18	5	また、 食料・飼料の生産・供給と競合しない 資源作物栽培や農産物の 非食用部等 のバイオマスを活用したバイオ燃料等の生産拡大を進める。 ↓ また、資源作物栽培や農産物のバイオマスを活用したバイオ燃料等の生産拡大を進める。 【理由】 「資源作物」自体が食用などを目的として栽培されるものではないバイオマスとして利用されるのは非食用部のみではない	指摘に従い修正
66	林野庁	96	26	5	市町村、森林所有者等への指導等を実施するフォレスターの育成や ↓ 市町村などへの技術的支援を実施するフォレスターの育成や 森林総合監理士(フォレスター)は、「技術的支援」を行うものであり、「指導」は不適當。 また、技術的支援の対象として、森林所有者はほとんど想定されないため削除すべき。	指摘に従い修正
67	東北農政局	98	21	5	また、 地域に存在する、木質、家畜排せつ物、食品廃棄物等のバイオマス、水、土地等の資源を活用したバイオマス発電、 小水力発電、太陽光発電等の再生可能エネルギーを利用するなど、～ ↓ また、 木質、家畜排せつ物、食品廃棄物等を利用したバイオマス発電、 小水力発電、太陽光発電等の再生可能エネルギーを利用するなど、～ 【理由】 文章を整理した。	指摘に従い修正
68	青森県	99	28	5	「北海道・北東北縄文遺跡群」→「北海道・北東北の縄文遺跡群」 北海道、岩手県、秋田県、青森県及び関係市町で構成する「縄文遺跡群世界遺産登録推進会議」が用いる正式名称で記述されたい。	指摘に従い修正
69	新潟県	99	28	5	北海道・北東北縄文遺跡群など → 北海道・北東北縄文遺跡群、 佐渡金銀山 など 【理由】 北海道・北東北縄文遺跡群と同様、佐渡金銀山も世界遺産暫定一覧に記載されているため	指摘に従い修正
70	新潟県商工会議所連合会	100	19	5	国際観光の拠点として仙台空港と表記があるが、新潟空港の国際線・チャーター便の活用についても触れていただきたい。 【理由】 新潟空港についても国際線の活性化に努めており、今後、さらなるアジア方面における発展可能性があるため。	指摘を踏まえ、以下のとおり修正 【修文】 …拠点となる仙台空港のLCC(格安航空会社)導入促進や 新潟空港を含む圏域内各空港による国際定期便・チャーター便の活用により圏域内への回遊創出を図り、北東北や南東北を始め、東北圏に隣接する首都圏・北海道・北陸圏との融合によるインバウンドの取組を推進し、地域連携による広域観光ルートの形成に取り組む。
71	新潟県商工会議所連合会	101	2	5	観光魅力を「東北ブランド」として発信していくという表記があるが、対外的にも新潟の観光魅力が抜け落ちている印象が拭えないため、新潟を含めた形での表記をご検討いただきたい。 【理由】 新潟の観光魅力が東北ブランドという文言に含まれているという認識が全国的にも少ないと感ずるため。	原案のとおりとする。 東北観光推進機構において、新潟県を含む7県で「Treasureland TOHOKU-JAPAN」のロゴを作成し、訪日外国人旅行者誘致のイベント等で情報発信をしているので原文のままとする。 東北の中に新潟が含まれていることは、記載する。
72	北海道	109	14	6	(原案)平成28年3月26日【予定】に～ (修正案)平成28年3月26日に～ 開業日決定のため、【予定】を削除。	指摘に従い修正
73	富山県	112	14	6	「北海道新幹線開業や2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催による観光などのプラスの効果の取り込み、～」 ↓ 「 北陸新幹線 や北海道新幹線開業、 や 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催による観光などのプラスの効果の取り込み、～」 【理由】 P154 27行目と表現を統一するため、文言を修正	指摘に従い修正

東北圏広域地方計画 計画原案(素案)に対する意見と対応方針(※H28.1.14有識者懇談会以降)

No.	機関名	ページ 番号	行 番号	節・PJ 番号	修正文(案)・個別公共事業の記載(案) 意見又は理由 等	意見に対する 対応方針(案)
74	宮城県	114	18	7	「(福祉サービスを担う人材の育成)」について、内容を「社会福祉従事者の資質の向上を図るための社会福祉研修を行い、地域で自分らしい生活を安心して送れる社会の構築に向けた人材を養成する。 また、福祉人材の就業の援助、研修の企画実施及び福祉事業経営者に対する支援を行い、質の高い福祉人材の確保を図る。」に修正。 【理由】 宮城県が実施する事業の内容に沿って全文修正する。	修正しない 第4章では、圏域としての目標と主要な施策を記載しているため
75	東北地方整備局	115	19	7	このため、 建設業などの インフラを支える	指摘に従い修正
76	宮城県	118	13	7	民間の資金や技術、ノウハウを活用し民間と協働によるインフラ整備・運営を進める。 ↓ PPP/PFIなど民間の資金や技術、ノウハウを活用し民間と協働によるインフラ整備・運営を進める。 【理由】 PPP/PFI手法の優先検討要請や地方ブロックプラットフォームの設置などの国の動きに合わせ、「PPP/PFI」を明示するもの。	指摘に従い修正
77	宮城県	119	15	7	「高齢者等のニーズの把握や見守り・ 生活相談 活動、活動拠点の整備を支援するとともに」 【理由】 見守りをするとともに生活相談に対応する必要があるため追記	指摘に従い修正
78	宮城県	119	20	7	「子育て支援、高齢者介護、障害者支援などを行う体制の整備と 地域住民による支え合い体制の構築 を進めるとともに、支援を要する方々の」に修正。 【理由】 行政による要援護者支援のほか、地域住民の支え合い体制づくりが必要であるため追記。	修正しない 文頭に「住民、行政、医療・介護・福祉の関係者等が協力し、」と記載しており、指摘内容は「子育て支援、高齢者介護、障害者支援などを行う体制の整備」に含んでいるため
第5章						
79	東北地方整備局	120	19	1	また、三陸沿岸の自然、震災遺構、道の駅等を活用し地震及び津波防災の伝承・継承、三陸沿岸の周遊観光拠点として(仮)三陸震災伝承街道」の形成を推進する。 【理由】 脱字の修正。	指摘に従い修正
80	林野庁	121	18	1	代表事例に「 宮城県沿岸地域 (民有林直轄治山事業等)」を追加する。 計画原案(素案)に記載された「海岸防災林の復旧や再生にあたっては、NPO(非営利活動団体)や企業等と連携を図りながら植栽等の取組を推進する」個別公共事業として、左記の事業を記載する必要があるため。	指摘を踏まえ、以下の通り修正 【修正案】 宮城県沿岸地域などにおける海岸防災林の復旧や再生にあたっては、生育基盤の造成と抵抗性クロマツコンテナ苗の活用を推進するとともに、地域住民、NPO(非営利活動団体)や企業等からの協力を得ながら着実に復旧を進める。
81	農林水産省	121	15	1	津波により被災した仙台平野地域等においては、早期復興をめざし、 農地等の復旧及び除塩工事を進める実施する とともに、農地集積等による収益性の高い農業の実現に向け、大区画化を推進する (理由) 東日本大震災の被災直後から農地等の復旧を継続的に進めてきていることから、(これから取り組むといった印象を与える)“実施する”ではなく“進める”との表現としたい。(別添1本文の前後の文章表現とも横並びが図れる。) また、除塩工事は概ね完了しているため文書から削除する一方、農業用施設などの復旧を含めた表現とするため、“農地等の復旧”としたい。	東北農政局意見により下記の通り修正していたが、農水省意見を採用し再修正 【幹事会・有識者懇談会時点案】 津波被災地域においては、農地及び農業用揚排水施設の早期復旧をめざし、仙台平野等にて復旧工事を行うとともに大区画化を主体とした区画整理を実施し、農地の利用集積による経営規模の拡大と経営の合理化を図り、農業生産性の向上及び農業経営の安定に資する。 ↓ 【修正案】 津波により被災した仙台平野地域等においては、早期復興をめざし、農地等の復旧を進めるとともに、農地集積等による収益性の高い農業の実現に向け、大区画化を推進する。

東北圏広域地方計画 計画原案(素案)に対する意見と対応方針(※H28.1.14有識者懇談会以降)

No.	機関名	ページ 番号	行 番号	節・PJ 番号	修正文(案)・個別公共事業の記載(案) 意見又は理由 等	意見に対する 対応方針(案)
82	東北地方整備局	123	5	1	浜通り地方と中通り・会津地方や隣接県との広域道路ネットワークの確保・強化等を着実に進める。 【確認】 前回の意見照会の対応で、この文章は削除すると回答があったが反映されていないようです。	指摘を踏まえ、以下のとおり修正 【修正】 さらに、全県に及ぶ風評被害の軽減や被災地と避難先との交流など全県的な取組が必要のため、 浜通り地方と中通り・会津地方や隣接県との広域道路ネットワークの確保・強化等を着実に進める。
83	東北地方整備局	126	32	2	広域的な大規模災害発生時に活用する中核的防災拠点の 整備を図る調査・検討を進める。	指摘に従い修正
84	東北地方整備局	131	9	5	加えて、冬期間でも 安全で安心・快適な交通ネットワーク を確保するため、 【理由】 タイトルの表現と整合させた。	指摘を踏まえ、以下の通り修正 【修正案】 加えて、冬期間でも 安全で安心かつ快適な交通ネットワーク を確保するため、…
85	新潟県	131	23	5	みちのく五大雪祭りなど(弘前…) → みちのく五大雪祭り(弘前…) など 【理由】 「など」の位置が不適当	指摘に従い修正
86	新潟県	131	24	5	東北各地 → 東北圏内 【理由】 他のページでは「東北各地」という表記を使用しておらず、統一性を持たせるため	指摘を踏まえ、以下の通り修正 【修正案】 東北 圏 各地
87	宮城県	132	26	6	「医学部入学定員の増員や入学者選抜における地域枠の設定の拡充など、新たに」を「医学部入学定員の増員や入学者選抜における地域枠の設定の拡充、新たに」に修正。 【理由】語句の調整。	指摘に従い修正
88	東北経済産業局	136	6	7	また、自動車・医療関連産業を始めとした各種産業の 競争力強化と集積拠点形成 にあたっては、エネルギーの安定供給と コスト低減 が不可欠であるため、東北圏の豊かな再生可能エネルギーや秋田・山形・新潟県で産出される天然ガスなどの利活用も含め、エネルギーインフラの整備の取組を促進する。 【理由】 エネルギーインフラの整備は、産業競争力強化の観点からも重要であることから「競争力強化」を追記。 また、供給インフラの整備により、エネルギーコストの低減を図る目的もあることから「コスト低減」を追記	指摘を踏まえ、以下の通り修正 ※「コスト削減」は「各種産業の競争力強化と集積拠点形成」にあたって不可欠とは言いつけないため、追記しない 【修正案】 また、自動車・医療関連産業を始めとした各種産業の 競争力強化と集積拠点形成 にあたっては、エネルギーの安定供給が不可欠であるため、東北圏の豊かな再生可能エネルギーや秋田・山形・新潟県で産出される天然ガスなどの利活用も含め、エネルギーインフラの整備の取組を促進する。
89	北陸農政局	137	8	8	農林産業者→農林事業者 ※他の箇所でも表記があれば、同様に修正 【理由】 六次産業化法的主旨を踏まえ、文言を修正	指摘に従い修正
90	北陸農政局	137	8	8	・農林事業者が生産する地域の農林産物を活用し、中小企業者との連携等による付加価値の高い商品の創出、食品加工業界と連携した農林産物の加工振興等の取組、流通業や食品製造会社等とタイアップした契約栽培や販売促進及び外食・中食産業等と連携した契約取引等を促進する。 ・流通業界→流通業 【理由】 農林事業者と連携する相手先との取組であることを明確にするため、文章・文言を修正	指摘に従い修正
91	北陸農政局	137	-	8	8～11行と重複して記述されているため削除	指摘に従い修正
92	東北農政局	137	15	8	特に、山菜、きのこ類、つまものなど山村特有の資源を活用した～ ↓ また、山菜、きのこ類、つまものなど山村特有の資源を活用した～ 【理由】 特化した施策を展開するわけではない。	指摘に従い修正

東北圏広域地方計画 計画原案(素案)に対する意見と対応方針(※H28.1.14有識者懇談会以降)

No.	機関名	ページ 番号	行 番号	節・PJ 番号	修正文(案)・個別公共事業の記載(案) 意見又は理由 等	意見に対する 対応方針(案)
93	東北農政局	137	25	8	このほか、国内外で物産フェア等の共同開催の促進や関係団体の連携によるセミナー開催等の輸出促進に向けた取組を実施する。 ↓ このほか、国内外で物産フェア等の共同開催の促進や関係団体の連携によるセミナー開催、 東北農林水産物・食品輸出モデル検討協議会 等の輸出促進に向けた取組を実施する。 【理由】 東北経済産業局、東北運輸局、東北地方整備局、東北農政局にて取り組んでいるプロジェクト名を記載。	指摘に従い修正
94	東北森林管理局	138	1	8	…木製ガードール等の… →…木製 ガードレール 等の… 【理由】 脱字の修正。	指摘に従い修正
95	秋田県	138	7	8	「森林(もり)ノミクス」は、豊富な森林資源を活用し、経済成長を目指すため、山形県が「やまがた森林(もり)ノミクス」を宣言したものである。「山形県が取り組む」等としてはいかがでしょうか。	本文は修正せず、以下注釈を追加(元の注釈を復活) 「森林ノミクス」(モリノミクス) ※ ※平成25年11月、山形県知事が県内全市町村長の賛同を得て「やまがた里山サミット」を設立し、地域の豊かな森林資源を「森のエネルギー」「森の恵み」として活かしていく『森林(もり)ノミクス』を宣言したもの。林業の振興を図りながら、雇用を創出し、地域活性化に向けて取組みを推進することとしている。
96	東北農政局	138	15	8	～金華さば等水産物のブランド化、 六 次産業化の推進、～ ↓ ～金華さば等水産物のブランド化、 6 次産業化の推進、～ 【理由】 「六次産業化・地産地消法」の法令引用する場合を除き、産業をいう時は、統一的に数字の「6」を使用しているため。	指摘に従い修正
97	北陸農政局	139	14	8	建設業など他産業からの農業参入企業を支援する相談窓口の開設や研修会の実施、 ↓ 建設業など他産業からの農業参入を支援する相談活動や農業参入フェア等への参加促進、 【理由】 相談窓口は、農業サイドとして既に県に開設しているため、「相談窓口の開設」を「相談活動」に、研修会は具体的に行っている農業参入フェアに変更する。	指摘に従い修正
98	北陸農政局	139	18	8	荒廃農地や未利用農地を再生・利用、 ↓ 利用意向調査などを踏まえ、荒廃農地や未利用農地を再生・利用、 【理由】 農地法に基づき行う利用意向調査などで農家の意向を確認し、農地として利用するか判断する。	指摘に従い修正
99	東北農政局	139	18	8	このほか、荒廃農地や 未利用農地 を再生・利用し、大豆、麦等の需要に応じた生産拡大を促進する。 ↓ このほか、荒廃農地を再生・利用し、大豆、麦等の需要に応じた生産拡大を促進する。 【理由】 「未利用農地」という言葉は使われない。	指摘に従い修正
100	北陸農政局	139	23	8	農地中間機構 → 農地中間管理機構 【理由】 法律上使っている、「農地中間管理機構」とする。	指摘に従い修正

東北圏広域地方計画 計画原案(素案)に対する意見と対応方針(※H28.1.14有識者懇談会以降)

No.	機関名	ページ 番号	行 番号	節・PJ 番号	修正文(案)・個別公共事業の記載(案) 意見又は理由 等	意見に対する 対応方針(案)
101	東北森林管理局	140	15	9	→…次代に伝承していくとともに、NPO等との連携により、木の文化を支える森づくりを推進するため、歴史的木造建築物や祭礼行事、伝統工芸品等の木の文化を守り、次代に継承していく。また、歴史的に重要な木造建築物や各地の祭礼行事、伝統工芸品等の次代に引き継ぐべき木の文化を守るため、地元自治体や関係機関等が連携しながら、木の文化を支える森づくりを推進する。 【理由】 「木の文化を支える森づくり」は歴史的木造建築物や祭礼行事、伝統工芸品等の「木の文化」を守るために必要な材料等を確保するための手段の一つです。原文だと、手段が目的化しているため、適切な表現となるよう修正した。 (参考)国民参加の森林づくり活動パンフレット	指摘を踏まえ、以下の通り修正 【修正案】 市民、NPO等の多様な主体が連携して行う広域的な取組により、各地域における伝統文化・芸能等を担う人材の育成や豊かな自然、歴史、風土の中で形成された東北固有の文化等を映像記録により保存整理し、次代に伝承していくとともに、地元自治体や関係機関等との連携による森づくりを推進し、歴史的木造建築物や祭礼行事、伝統工芸品等の木の文化を守り、次代に継承していく。
102	北海道	141	20	9	(原案)北海道新幹線開業(平成28年3月26日【予定】)の～ (修正案)平成28年3月26日に開業する(した)北海道新幹線の～ 開業日決定のため文言修正。 ※ 3月26日前に本計画が公表される場合には「開業する」、 3月26日以降となる場合は「開業した」としていただきますようお願いいたします。	指摘に従い修正 ※公表日にあわせて調整※
103	東北運輸局	141	20	9	北海道新幹線開業(平成28年3月26日【予定】)の道南地域からの旅行者を対象とした、 ↓ 北海道新幹線開業(平成28年3月26日【予定】)の道南地域、東北の空港への直行便等を活用した旅行者を対象とした 【理由】 本計画素案P143に記載してある「訪日外国人旅行者数2000万人の受入に向けた東北ブロック連絡会」の最終取りまとめに合わせる	指摘に従い修正
104	東北運輸局	141	28	9	民間イベント等の開催の働きかけ、特に東北圏へ → 民間イベント等の開催を働きかけらる。また、東北圏へ 【理由】 国土形成計画(P102)に沿った表現にする	指摘に従い修正 「また」の前で改行
105	東北運輸局	141	30	9	「日本版DMO」を立ち上げ → 「日本版DMO」を確立しつつ 【理由】 国土形成計画(P102)に書きぶりを合わせる。	指摘に従い修正
106	東北地方整備局	143	1	9	ビジット・ジャパン案内所 ↓ JNTO(日本政府観光局)認定外国人観光案内所 【理由】 現在は、「ビジット・ジャパン案内所」に改善を加えた、JNTO(日本政府観光局)認定外国人観光案内所となっている。	指摘を踏まえ、以下の通り修正 【修正案】 ビジット・ジャパン案内所 →外国人観光案内所
107	東北地方整備局	143	3	9	……、青森港などクルーズ船寄港に対応した受入環境の整備港湾機能の充実や、みなとの交流拠点「みなとオアシス」の機能充実といったインバウンド観光を促進する取り組みを推進するため、… 【理由】 青森港の追記	指摘に従い修正
108	東北運輸局	143	12	9	インターネット情報サイトなど → インターネット情報サイト・SNS 【理由】 東北観光基本計画(東北運輸局)に具体的な書きぶりとする。	指摘に従い修正
109	東北運輸局	143	脚注	9	20行目 インバウンド観光 脚注190 → 4行目 インバウンド観光 脇に移動 さらに、脚注内容を、外国人による国内観光旅行と記載。 【理由】 過去の目標値がクリアされたことと、訪日外国人旅行者の目標値の変更が検討されているため数字を省く。	指摘に従い修正
110	新潟県	146	19	11	北上川水系、鳴瀬川水系、阿賀野川水系における → 北上川水系、鳴瀬川水系、信濃川水系、阿賀野川水系における 【理由】 新潟県における代表水系は信濃川水系であり、かつ、P6-13行目で圏域の代表的な河川として信濃川と記載されている。また、大臣管理区間の信濃川水系河川整備計画においても、信濃川の堤防整備が位置付けられているため、「信濃川水系」を追記願いたい。	修正しない 原則、一記載箇所に、代表河川等は最大3例に限定しているため
111	水管理・国土保全局	146	19	11	北上川水系、鳴瀬川水系、阿賀野川水系等における堤防や津軽ダム、成瀬ダム等の洪水調節施設等の治水対策、 ↓ 北上川水系、鳴瀬川水系、阿賀野川水系等における河川整備や津軽ダム、成瀬ダム等の洪水調節施設の整備等の治水対策、	指摘に従い修正

東北圏広域地方計画 計画原案(素案)に対する意見と対応方針(※H28.1.14有識者懇談会以降)

No.	機関名	ページ 番号	行 番号	節・PJ 番号	修正文(案)・個別公共事業の記載(案) 意見又は理由 等	意見に対する 対応方針(案)
112	新潟県	146	20	11	最上川水系等 → 最上川水系、 <u>信濃川下流水系</u> 等 【理由】 新潟県においても砂防直轄事業を実施しているため、本県の代表箇所である「信濃川下流水系」(直轄事業で全体事業費および単年度事業費が県内最大であり、かつ大規模)を追記願いたい。	指摘に従い修正
113	北陸地方整備局	146	20	11	最上川水系等の砂防事業 → 最上川水系、 <u>信濃川下流水系</u> 等の砂防事業 【理由】 信濃川水系の事業をプロジェクトに加えていただきたい	指摘に従い修正
114	北陸地方整備局	146	21	11	新潟 <u>海岸</u> 等の侵食・高潮対策 → 新潟 <u>地域</u> 等の侵食・高潮対策 【理由】 直轄事業として、新潟海岸と新潟港海岸の両方を網羅する表現とするため	指摘に従い修正
115	東北森林管理局	146	30	11	さらに、山地災害等の被害を防止・軽減する事前防災・減災の観点から、 <u>土砂流出防備や防風、防潮等</u> 水源の涵養、 <u>土砂の流出や崩壊、飛砂・潮害の防備等</u> を目的とした保安林の <u>整備管理</u> 及び保全、治山施設の設置や機能が低下した森林の整備など、 <u>総合的な治山対策</u> や適切な森林の整備及び保全による災害に強い森林づくりを通じた「緑の国土強靱化」を推進する。 【理由】 保安林の機能について、森林法の表現に基づき修文するなど、表現の適正化を図るため。	指摘に従い修正
116	宮城県	149	21	12	FCVの話題を追加。 【理由】 国土交通省では、「地域交通グリーン化事業」で地域交通のグリーン化に取り組む中でEVとFCVの普及に取り組むこととしているところであるが、原案にはEV、PHVしか含まれていないため、FCVを追加するべきと考えるため。	指摘に従い、以下の通り修正 【修文】 …EV(電気自動車)、PHV(プラグインハイブリット車)、 <u>FCV(燃料電池自動車)</u> の導入や…
117	東北森林管理局	150	1	12	…技術等の提供による <u>園民国民</u> 参加の森林づくりの… 【理由】 東北圏広域地方計画であっても、東北圏外の参加による森林づくりも考えられるため、「国民参加」に修正した。 (参考)国民参加の森林づくり活動パンフレット	指摘に従い修正
118	東北農政局	150	14	12	～ <u>六次産業化法</u> に基づく支援措置等を活用し、～ ↓ ～ <u>六次産業化・地産地消法</u> に基づく支援措置等を活用し、～ 【理由】 現在使用している略称に修正。	指摘に従い修正
119	東北農政局	150	脚注	12	正式名称「地域資源～法律」(平成23年3月1日施行) ↓ 正式名称「地域資源～法律」(平成二十三年十二月三日法律第六十七号) 【理由】 一般的な記載に修正	指摘を踏まえ、以下のとおり修正 【修文】 正式名称「地域資源～法律」(<u>平成22年法律第67号</u>)
120	林野庁	151	33	13	また、江戸時代から植林が行われてきた庄内海岸(<u>遊佐町、酒田市、鶴岡市</u>)を始め、風の松原(<u>能代市</u>)、屏風山(<u>つがる市</u>)等の歴史や景観上も価値の高い海岸防災林を保全・再生し、次代に継承する。 【理由】 書きぶりを他の表記と統一するため、市名を削除	指摘に従い修正